

令和3年度

ひきこもり当事者等の居場所の担い手基礎研修

(兵庫県精神保健福祉協会「こころの健康づくり講演会」)

ひきこもり支援に
役立ちそうな
思春期の精神医学の話



川崎医科大学 精神科学教室
准教授 村上 伸治 先生

日 時 令和3年10月16日(土) 14:00~16:00

会 場 兵庫県こころのケアセンター 大研修室
(兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2)

※兵庫県テレビ会議システム(Cisco webex meeting)を利用したハイブリッド型研修とし、オンラインでの聴講も可能です。

対 象 者 兵庫県内のひきこもり支援に携わる者、若年無業者等の相談担当課、ひきこもり支援に関心のあるNPO法人、精神保健福祉協会員 等

定 員 120名(対面50名、オンライン70名)

申込方法 右下のQRコードを読み取るか、URL(<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1625200878669>)から兵庫県電子申請システムにアクセスの上、お申し込みください。WEBによる申込みができない方は別途お問い合わせください。

申込締切 令和3年10月1日(金)

主 催 兵庫県精神保健福祉センター/兵庫県精神保健福祉協会
TEL 078-252-4980



近年、ひきこもりの相談は複雑困難化し、不登校や若年無業者から8050問題と呼ばれる中高年者まで、幅広い年代のひきこもり当事者への支援が喫緊の課題となっています。ひきこもり当事者が社会とつながる第一歩として、安心して過ごせる地域の「居場所」が果たす役割が期待されています。

そこで、ひきこもり当事者等が参加しやすい地域の居場所づくりを推進するために、その担い手となる方が知っておくべき知識を学んでいただく研修を企画しました。

講師紹介

村上 伸治 先生

岡山大学医学部卒業後、岡山大学助手、川崎医科大学講師を経て、2019年より川崎医科大学精神科学教室准教授。専門は青年期精神医学。著書に『実戦 心理療法』『現場から考える精神療法 うつ、統合失調症、そして発達障害』（共に日本評論社）、編著として『大人の発達障害を診るとのこと：診断や対応に迷う例から考える』（医学書院）などがある。

参加に際して

○現地参加の場合

- ・当日は検温し、発熱や咳などの風邪の症状、呼吸器症状がないかご確認ください。これらの症状のある方は、参加をご遠慮ください。
- ・体調不良が疑われる方には、退席をお願いする場合があります。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況によってはオンライン視聴のみの対応とさせていただきます。
- ・WEB中継の画面に参加者席が映る場合があります。
- ・公共交通機関をご利用いただくか、近隣のコインパーキングをご利用ください。

○オンライン参加の場合

- ・パソコン及びスマートフォンからご参加いただきます。
- ・Cisco Webex Meetingsアプリをインストールする必要があります。
- ・エコー防止のため、ヘッドセット等の利用を推奨します。
- ・アプリのインストール手順や実際の参加方法については、お申し込み後、別途お知らせします。
- ・チャット機能等による講師への質疑にはお答えしかねますので、ご了承ください。
- ・録画、録音をご遠慮ください。

問い合わせ

兵庫県精神保健福祉センター / 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2 / TEL : 078-252-4980



兵庫県